令和５年度大学院入学試験事前課題
（中期募集）

教育実践高度化専攻

教科教育・教科複合実践研究コース

（芸術創造領域　音楽分野）

注　意　事　項

1　問題用紙と解答用紙は別である。解答用紙に記入すること。

2　出願時に選択した１科目を解答すること。

3　解答用紙には，選択した科目名を所定の欄に記入すること。

4　解答用紙には，受験番号を所定の欄に必ず記入すること。

5　解答用紙のみ返送すること。なお，問題用紙は回収しない。

問題　出願時に選択した１科目を，1000～1200字で解答すること。

◎ 音楽教育学

『小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 音楽編』によると，「音楽づくりの活動は，『音遊びや即興的に表現する』活動と『音を音楽へと構成する』活動からなる。（中略）指導に当たっては，『音遊びや即興的に表現する』活動から『音を音楽へと構成する』活動へのつながりについても配慮する必要がある。」*と解説している。

このような配慮はどのような学習活動によって意味のあるものとなるか。具体的な指導事例とともにあなたの考えを述べなさい。なお，校種は小学校に限定しなくてもよい。

*文部科学省（2018）『小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 音楽編』東洋館出版社，p.24

◎ 声楽

歌唱領域において，「思考力，判断力，表現力等」を育成するためにはどういった手立てが必要か。「音楽を形づくっている要素」を関連させながらあなたの考えを述べなさい。

◎ 器楽

あなたがこれまでに楽器演奏を通して得た音楽（的）経験を，小学校・中学校における音楽科の授業でどのように活かすことができるか述べなさい。

◎ 作曲

「様々な発想をもって即興的に表現する」とは，どのような状態をいうと考えられるか。音楽そのものとの関わりがわかるように述べなさい。

この質問は，小学校での音楽づくりの授業を念頭に置いてはいるが，あなた自身の経験に関わらせて考えてもよい。

◎ 音楽学

平成 28 年の中央教育審議会答申では，「我が国や郷土の伝統音楽に親しみ，よさを一層味わえるようにしていくこと」が必要，と示された。他方で，『小学校学習指導要領（平成 29 年告示）』の「第２章　各教科」「第６節　音楽」「第３指導計画の作成と内容の取扱い」には，「歌唱教材については，我が国や郷土の音楽に愛着がもてるよう」にすべき，とある。

我が国や郷土の音楽に「親しむ」ことと「愛着をもつ」こととは，どのように関係すると考えられるか。また，児童生徒が我が国や郷土の音楽に親しみ，愛着をもてるようにするには，どのような授業を，どのような手立てを用いて展開すればよいか。具体例を挙げて，あなたの考えを述べなさい。なお，校種は小学校に限定しなくてもよい。領域も歌唱に限定する必要はない。